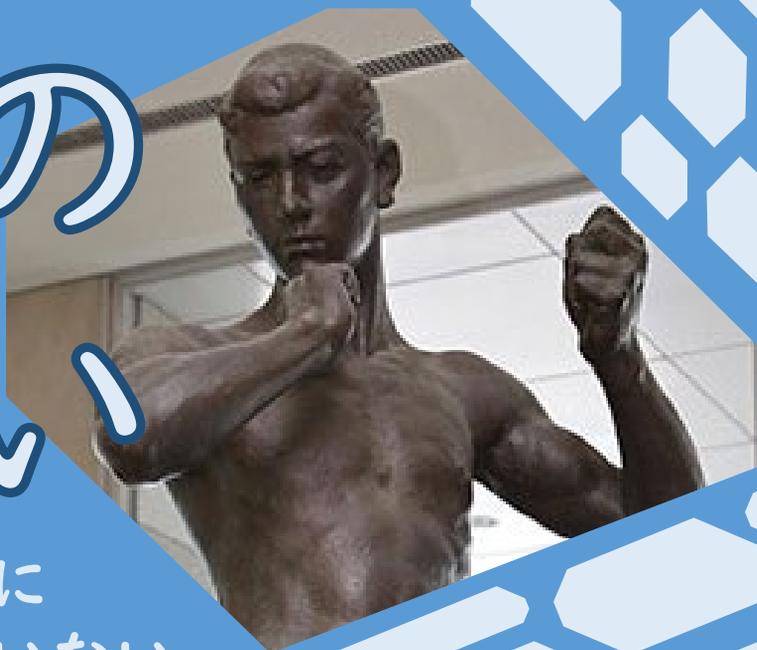


第68回

不戦のつどい



—平和のリレーに
アンカーはいない—

ご連絡とお願い

不戦のつどい実行委員会は、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてきている状況を踏まえ、像前集会を従前のように、3キャンパスで実施することも検討しました。

しかしながら、感染拡大が完全に収束した確証はなく、近年ご参加いただく方には、ご高齢で様々なご事情・条件をお持ちの方がいらっしゃいます。不特定多数のご参加は未だ感染のリスクを払拭できません。

したがって、第68回像前集会につきましては、12月8日（水）に、代表者のみの参加で開催させていただきます。学生、教職員、一般の方はご参加できませんので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

不戦のつどい実行委員会



不戦のつどいとは？

先の戦争では、多くの学生が徴兵や勤労奉仕に駆り出され、尊い命を失いました（その中には、立命館大学で学んでいた学生達も含まれています）。

「平和と民主主義」を教学理念に掲げる本学では、「二度と学生を戦地に送り出さない」という反戦・平和の誓いを新たにするとして、1954年以来、アジア太平洋戦争勃発の日である12月8日前後に「不戦の決意」を確認する場として、開催しています。

教学理念「平和と民主主義」はどのように確立されたのか？今年で68回を数える「不戦のつどい」にこめられた思いとは？

本学史資料センターHPに掲載されていますので、右のQRコードから特集記事をご覧ください。



立命館生協 不戦のつどい関連企画 ①

すいとん販売 ￥88 (税込)
12月8日（水）限定



立命館生協 不戦のつどい関連企画 ②

書籍フェア（衣笠・BKC）
12月8日（水）～12月末



不戦のつどい

関連企画のご案内

今年度の不戦のつどいに関連して、2つの企画を実施します。いずれの企画も、国際平和ミュージアムに共催いただき、「不戦」や「平和」について多角的に考える機会にしたいと考えています。皆様の積極的なご参加をお願いいたします。両企画のお問合せは、立命館大学教職員組合 (rits_union@yahoo.co.jp) まで。

わたしたちの「不戦」ってなんだ？

—あなたの「ゆるせないコト」と「戦い」から考える—

「不戦」とは？「平和と民主主義」とは？

われわれの日常において、このような問いに向き合う機会はありません。もはやこれらの言葉は、われわれの社会において当然のように用いられ、真正面から否定されることもないものとして存在しているから。

しかし、だからこそわれわれは、改めて考えてみる必要があるのではないのでしょうか。そうでなければ、いずれその言葉は形骸化し、その価値も顧みられることがなくなるのではないのでしょうか。

そのような発想から、われわれ自身の思考と対話の共有のためのスキームとして「えんたく」という方法論を用いたワークショップを開催します。ここでいう「えんたく」は、われわれが一般的に想像する物理的な「円卓」ではなく、課題を共有するための新しい方法です。

本企画でみなさんとともに、今後の不戦のつどいのあり方のみならず、立命館大学に暮らすわれわれそれぞれが考え・行動するための指針としての「平和と民主主義」の新たな展望を見出していく場としたいと思います。

日時

12月10日(金) 11時30分～12時30分

会場

Zoomによるオンライン配信

※話題提供者による発言時間の後に、一般参加者も1組3名程度のグループ対話を行います
※一般参加者の対話は、ブレイクアウトルームで行います
※一般参加者の対話の後に、話題提供者も含めた共有の時間を持ち、対話を深化させます

話題提供

ファシリテーター

森久 智江 先生 (法学部・教授)
(立命館大学教職員組合・書記長)

神戸 海知代 氏 (株式会社かんべ笑会・代表)
(東京コピーライターズクラブ会員・幹事/
本学国際関係学部一期生)

佐藤 颯平 氏 (法学部・4回生)
(学友会・中央常任委員長)

川崎 有璃子 氏 (本学・職員)
(衣笠教学課 勤務)

参加申込

(1) 12月9日(木)までにお申込みください
⇒下のURL、または右のQRコードから
アクセス願います

<https://questant.jp/q/ENTAKU>



(2) 開催日当日にZoom案内メールを送信します

いま平和を考える

—フクシマから10年—

日時

12月14日(火) 16時40分～18時30分

会場

立命館大学大阪いばらきキャンパス
B棟3階コロキウム (B374)

※対面+Zoom配信のハイブリッド企画とします
※会場参加は要予約とします(人数制限あり)
※話題提供の後に、会場を中心に質疑応答、
ディスカッション、感想交流を行ないます

話題提供

村本 邦子 先生
(大学院人間科学研究科・教授)

司会

山崎 文徳 先生
(経営学部・教授)

参加申込

(1) 12月12日(日)までにメールでお申込みください
⇒wp-event@st.ritsumeit.ac.jp

(①名前、②所属、③連絡用メールアドレス、
④電話番号、⑤会場 or Zoom の参加希望)

(2) 開催前日までにZoom案内メールを送信します

平和とは直接的・間接的・文化的暴力のない状態のことです。その意味で、これまでの企画では戦争など直接的暴力に関係するテーマを扱うことが多かったのですが、今回は、間接的暴力ととらえることのできる事故・災害・環境問題をテーマとします。

村本先生は臨床心理士であり、人間に関わる臨床実践に根差した研究をされてきました。戦争や災害、虐待、性暴力、DVにおける暴力と抑圧の歴史を研究されてきました。そもそも、心理学は戦争の歴史とともに発展してきたと言っても過言ではないとのこと。

東日本大震災を受けて「東日本・家族応援プロジェクト」を立ち上げ、十年計画で毎年東北4県を巡回されてきました。その内容はお著書『周辺からの記憶：3・11の証人となった十年』をご覧ください。